



屋外スポーツ施設管理更新計画の主な取り組み項目と実施状況

No	計画の主な取り組み項目	令和4年度実施状況
1	暑熱還付の実施（熱中症防止等のための酷暑時における利用料金還付）	継続実施（令和3年度開始）
2	庭球場における早朝枠実施の検討	継続実施（令和3年度より段階的に実施）
3	大谷戸公園キャンプ練習場の利用方法見直し	運用見直し等を順次実施・料金改定のための条例改正 ※令和5年7月より料金改定等実施
4	キャッシュレス決済導入研究	キャッシュレス決済導入経費の予算化
5	人工芝から発生するマイクロプラスチック流出抑制の研究	企業連携・市民協働で実証実験を実施
6	施設の更新等工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は貝取北公園人工芝張替工事、連光寺公園庭球場人工芝張替工事を実施・完了予定。 諏訪北公園野球場・庭球場の全体更新改修工事を公園工事とあわせて着工し令和5年度完了予定。
7	利用者登録方法の検証と必要に応じた見直し	今後検討予定
8	より多くのスポーツ競技への対応検討・施設名称変更検討	今後検討予定
9	個人単位での利用検討	<ul style="list-style-type: none"> 大谷戸公園キャンプ練習場については1人利用可能とする条例改正 その他の屋外スポーツ施設は今後検討予定



令和4年度スポーツ施設実績の主な傾向

施設	状況	要因
野球場全般	土日の稼働率が高い一方で、平日の稼働率は低い状況にあります。	利用可能競技である野球が主に子どもや現役世代が行うスポーツであることが要因であると考えられます。
一本杉公園野球場	市内団体の利用率が低く、利用者一人当たりコストが高い状況です。	硬式野球対応で広域大会の利用や市外の学校等法人利用が多いため市外団体利用が多く、規模が大きい施設であることから維持管理費が高くなっています。
諏訪南公園野球場	稼働率が上昇する傾向がみられるものの他の野球場に比較して稼働率が低い状況にあります。	市民大会等の会場となっていないことや駐車場不足等が要因であると考えられます。
球技場全般	球技場においては、土日の稼働率が高い一方で、平日の稼働率は低い状況にあります。	利用可能競技であるサッカー、ラグビーなどの競技が主に子どもや現役世代が行うスポーツであることが要因であると考えられます。
諏訪南公園球技場	稼働率が低い状況にあります。	野球場と兼用グラウンドで野球利用時は球技場利用が出来ないこと。また、市民大会等の会場となっていないこと、グラウンド状態や駐車場不足等が要因であると考えられます。
一ノ宮公園球技場	他の球技場に比較して市民利用率・稼働率が低い状況にあります。	市民大会等の会場になっていないことや駐車場が無いことなどが原因であると考えられます。
庭球場全般	平日・土日ともに稼働率・市民利用率が高く、利用者一人当たりコストが低い状況にあります。	多摩市のテニス人口が全国平均に比較して多いことが要因であると考えられます。
一ノ宮公園庭球場	他の庭球場に比較して稼働率・抽選倍率が低く、利用者一人当たりコストも高い状況にあります。	サーフェスがクレーであることや駐車場が無いことなどが要因であると考えられます。
キャンプ練習場	利用者一人当たりコストが高い状況にあります。	利用料金が低廉であることが要因です。令和5年7月に料金改定を行ったことにより今後の改善状況を確認していく必要があります。
陸上競技場	インフィールドは高い施設稼働率となっている一方で、市民利用率が低い状況にあります。	天然芝の管理状況が良好であることから稼働率が高く、プロスポーツチームとの協定による利用が一定数あるため市民利用率が低い状況にあります。
総合体育館 武道館 温水プール	新型コロナウイルスの影響による利用者減少が継続していたが、令和4年度より回復傾向にある。	新型コロナウイルス感染症拡大期の利用自粛の影響が要因であると考えられます。